平成27年度の事業報告

今年度は牡蠣養殖の後継者を育てるための準備として、牡蠣養殖作業はほぼ牡蠣漁師さんの作業に合わせて順境に行うことが出来ました。お陰様で11月には震災後、一番立派なプリプリした牡蠣が収穫出来ました。

この間、牡蠣の挟み込み、仮殖、抑制、本殖と牡蠣の生育に合わせて海の環境問題との関わりを勉強するが出来たと思います。特に収穫期間の11月から3月にかけてはパンフレット『牡蠣』を利用して美味しい牡蠣をつくるには海の環境が大切なことを参加者と共に学ぶと共に自分たちで育てた牡蠣を堪能でき参加者全員が感動していました。牡蠣養殖を通して桂島の牡蠣が海の環境問題と大きく関わりがあることがPRできたことも大きな収穫でした。また、アマモについては単独での事業が難しいので塩釜市内「アマモ場再生会議」のイベント(10月10日)に参加してアマモの種まきを体験することが出来ました。

海水浴場「マイビーチ鬼ヶ浜」周辺整備では７月19日の海開きに約50名、3月20日ビーチクリーン作戦に35名の参加の参加を頂き、清掃を行い素足で歩ける砂浜を実現することができました。海水浴場には27年度は約7,000名が訪れ海の環境についてお話しできたことも海の環境問題に対する理解を深めたと思う。

昨年仙台市内に開館した「仙台うみの杜水族館」では、ホヤの養殖や牡蠣の養殖など三陸の海について紹介しているのでパネルやパンフレット「牡蠣」などを置いて、松島湾に浦戸諸島という人の住んでいる離島があることを理解して頂くことをお願いしました。改めて後日打ち合わせを行うことになりました。

１年間を通して漁業協同組合・牡蠣部会の一員として牡蠣養殖に携わりました。特に11月に行われた牡蠣部会、家族総出の『牡蠣まつり』に加わり県内外から来たお客様を接待し、海の環境についてもお話しできました。また種牡蠣の挟み込みから収穫体験まで約500人の交流人口が増えたことで桂島にとって大きなプラス材料となった。

3年目となる海水浴場「マイビーチ鬼ヶ浜」に於いてもビーチクリーン作戦に延べ34名の参加の参加を頂き約7,000人の海水浴客が訪れたことは島の交流人口の増加に大きく寄与したと思う。